

こんごういんニュース

金剛院 NEWS

子どもたちにくつろぎ空間と食卓を提供、「夜の児童館」



この日、蓮華堂の2階に来たのは小3から中3までの子どもたち5人。毎週火曜日の夕方4時から、夕食をはさんで21時まで、子どもたちは「夜の児童館」で自由に過ごすことができます。



運営するのは、住職をはじめ、わくわくネットワーク5人のボランティアスタッフ。大人たちは夕食の調理や、ゲームの相手をしたり、宿題のめんどろをみたりしながら子どもたちと一緒に過ごします。

通常の学童保育やスキップなどは、大半が6時で終了。だから、親がフルタイムで働いている子どもたちは、どうしても夕食を一人で食べるが多くなってしまいます。「夜の児童館」は、そうした「孤食(こしょく)」を解決する取り組みなのです。



ゲームをしたり宿題をしたり、疲れたときは横になって眠ったり。大人も子どもも、わが家にいるような自由でリラックスした時間を過ごし、たくさんの愛情を感じる家庭のような場所になっています。



あまったご飯は持ち帰りやすいように、おにぎりにして残さずいただきます。



午後6時、夕食の準備が整いました。皆そろって「いただきます」と手を合わせて。



この日はチキンカレーにキャベツと豆のサラダ。ご飯も美味しく炊きあがりました。



準備や後片付けは皆で手分けして。自分が食べられる量を各自で盛り付けます。



食事の前後はゲームをしたり、折り紙をしたり、それぞれ自由に過ごします。

★子どもの孤食については常々「お寺で何かできないか？」と考えていたところ、ご縁あって昨年11月に「夜の児童館」を立ち上げることができました。食事や遊びを共にすることで、お寺が子どもたちの「もうひとつのリビングルーム」になっていけたら、こんなに嬉しいことはありません。(住職記)